

# みんなで考えよう 将来の「土地利用」

## 土地利用計画策定 市民会議ニュースレター

～ 最終号 ～

### （市民会議等による合同総括会議）

日時 平成19年3月20日（火） 16:00～17:30  
場所 飯田市役所本庁舎3階301～303号会議室  
参加 土地利用計画策定市民会議26名、景観市民会議7名、地区懇談会9名  
コーディネーター4名、事務局

- 市民会議と地区懇談会の委員の皆様からご意見をいただきながら、土地利用に関する条例や計画づくりを行ってきました。おかげさまで、貴重なご意見から全市的な内容がまとまりました。今後は、市民会議や各審議会において議論することになりますが、このような形での市民会議と地区懇談会は終了となります。これまでの委員の皆様のご協力に対し、市長よりお礼を申し上げます。
- そこで、今回は総括会議として各委員の皆様にお集まりいただき、これまでの市民参画による話合いや今後の取組み等についてグループに分かれ、地区懇談会の運営に携わった、4人のコーディネーターにグループに加わっていただき、グループでのご意見と地区懇談会での所感等を踏まえ、発表した内容をまとめましたのでご覧ください。

#### 井上景観研究所 井上コーディネーター（羽場、座光寺、川路、伊賀良地区担当）

- ・景観の育成は身近にある農地の保全から考えたい。農地、里山の保全が景観と繋がっていくことを議論の中で感じられたのではないかな。
- ・計画の実行にあたっては、土地所有者等にどのようなかたちで理解をしていただくかが基本的なポイントとなる。
- ・後継者不足のなかで計画をベースにしたまちづくりに、若い人をどう呼び込むか考えていかないと、実行していけないのではないかな。
- ・土地利用計画を描いていくときは、所有者、権利者だけでなく地域住民が参加して絵を書きたい。また、経済や歴史を踏まえつつ、夢がないと進んでいかない。地域の方向性を大きく描き、議論していく。
- ・私も足掛け3年やってきたが、都市計画の中でも土地利用が一番難しい。
- ・市民会議等でキャッチボールしながらやってきたが、今後は地域でも同様に議論し、進めていくことになる。地域には農業、商業、福祉、教育など全てにおいて課題があるが、地域でコミュニケーションを図りながら、どんな絵を書いていくか考えてほしい。

#### 宅地開発研究所 吉田コーディネーター（松尾、竜丘、山本、上郷地区担当）

- ・土地利用計画について市民と議論してきたが、とりかかりは難しかったと思う。
- ・計画は素晴らしいが、実際は宅地が無秩序に広がったような白地地域では大変な問題が多い。
- ・雨水排水の問題が大きく取り上げられていたが、上段での舗装も多くなってきていることが心配。
- ・農振地域では農業の後継者不足が問題であり、今までは個々に農地を転用してアパートを建ててきたが、これからは空き家（部屋）の問題も出てくるので、地域全体の問題として捉えていくことが必要。
- ・地域の協力がないと、これからの計画が出来ないがどうしたらよいか、という意見があったが、良い景観のまちとはどういうものなのか、道路は必要だが排気汚染は嫌だなど、市民の力で考えていけるのではないかな。
- ・美しい景観といっても抽象的に捉えるのではなく、緑の種類と管理についても市民で勉強をして考えていきたい。飯田市の特徴でもある段丘の緑についても、同様に考える必要がある。
- ・景観を考えていくことはできるが、土地利用を考えるのは難しいという意見があった。また、土地利用の問題を考えるよりも鳥獣被害、人口減少が切実で、地区懇談会の出席者も減ってきたという意見もあった。地域の課題をメインに土地利用計画を進めてほしい。
- ・雨水排水を政策的に考えてほしい。役所はあまり考えていないのではないかなという意見もあったが、市民パワーで盛り上げて欲しい。
- ・総論は賛成でも各論になって反対も出てくる。提案ができる制度もできたので、できることから始めていく。委員から「行政と市民を繋げる役ができそうではないか」という力強い発言もあった。
- ・市民同士が勉強して力をつけながらまちづくりを進めていくことが重要。

長野県地域営農システムアドバイザー 田辺コーディネーター（上久堅、龍江地区担当）

- ・ 条例の運用にあたっては、地域住民への周知が大きな課題
- ・ 遊休農地の増加や無秩序な開発など、将来に禍根を残さないようにしていきたい。
- ・ 人口減少を抑えるために工場誘致を求める意見も多い。
- ・ 景観は隣接する地域の協力が大切であるので、自治会でも連携をとってほしいという意見があった。
- ・ 私自身、地域の皆さんの真剣な議論に感動し、勉強になった。
- ・ 価値観を共有していれば、地域自治組織にシフトしても立派にやっていける
- ・ 飯田の第一印象は緑が視界の上の方であって、景観が流線を描いている。奥座敷、坪庭といった感じにしたらいいのではないかと。上久堅のアジサイのような取り組みもある。私の勝手な意見であるが「地域まるごと農業公園化」してその中に住んでみたい。住んでよかったというすばらしいところにしてほしい。道路と土手も公園とし、一度は行ってみたいという場所になれば良いと思う。やることは大変だが、できることからやっていくこと。
- ・ 三遠南信自動車道の開通もあり上久堅、龍江など地区ごとではなく、竜東全体で計画を構築してほしい。



話合いの様子



市長お礼

ハーツ環境デザイン 山本コーディネーター（丸山、東野、鼎地区担当）

- ・ 農振が掛かっているところでは、子どもが帰ってきてても住宅が建てられない。一方では市街地の土地では高く売れないという意見が地区懇談会でも出されていた。
- ・ 世界動向を考えると、農業を頑張らないと今後食料自給がどうなるかわからない。大きな目で見てもらいたい。
- ・ 雨水排水問題は今の制度では解決しにくい部分もあるので、考えていかなければいけない。
- ・ どうやって丘の上の賑わいを取り戻すか考えをもっていないと、お金を使っても前に進まない。
- ・ 飯田で産業が根付き、将来子どもが暮らせるまちにするには、全国レベルの経済の流れの中で戦ってうまくいかない。
- ・ 飯田らしいライフスタイル、考え方で土地利用をしなければいけないのではないかと。東京と同じことを考えないでほしい。
- ・ 条例づくりを市民とやっている他市はない。専門的なところまで市民が話あって考えている熱意を誇りにしていただきたい。
- ・ 一つ一つ小さなことをかたちにしながら、大きな目標に向かってやっていかなければならない。

これまでご参加いただきました皆様におかれましては、大変お忙しい中、ご出席を賜り、ご熱心にご協議いただき誠にありがとうございました。今後は、地域別の土地利用の計画について各地域、市役所共に新たな体制で取り組んでまいりますので、ご協力やご支援よろしく申し上げます。

企画部 企画課 土地利用計画係は、4月より建設部 都市・地域計画課 土地利用計画係となります。

〒395-8501 飯田市大久保町 2534 番地 Tel 22-4511 Fax 53-4511

ホームページアドレス「<http://www.city.iida.nagano.jp/kikaku/tochikeikaku/>」